

これも菊！？「マム」の魅力を糸島から

福岡の花を知る



明けましておめでとうございます。皆さま良い新年をお迎えのことと思います。オフィスメントアーの山口みどりです。今年も、花の魅力やパワー、癒しの効果など、花農家さんや産地JAさんを訪ね、話を聞きながら、福岡県産のお花を通してお伝えしていきます、いけ方のワンポイントアドバイスもしていきます。

今回も福岡県糸島市へ

糸島市は福岡県の西側にあり、山や海、自然豊かな地方都市で、福岡市内からのアクセスのよいところです。糸島ファンも多く、他県からの移住者も多いところです。そんな糸島市では、花・野菜・畜産物や加工品など多くの産物が生産されています。今回は「マム・小菊」を取材してきました。「マム」ってご存知ですか？ マムとは菊の別名ですが、一輪咲きの菊と違い、1本の茎から花がスプレー状に数輪咲いています。私たちは、通称「スプレーマム」と呼んでいます。菊の花とマムは少しイメージが違います。



菊の花は国花でもあり格式も高く、また仏花のイメージが強いのですが、いえいえ、マムたちを見てください。マムは種類も多く、色や形も豊富で何よりカワイイ!思わず笑みがこぼれてきます。カジュアルな気持ちで飾ることができますよ。



そんなマムを26年間作っているのは、「富永英明さん」。前回のコラム、「センリョウ・小川勝さん」に続き、**2017年に農林水産大臣賞を受賞されました。**

受賞されたのはこちらのピュアホワイトのマム「セイヒラリー」という品種です。シベの緑色も際立っています。



【福岡の花を知る】

* 花コラム記事・いけばな作品：オフィス メントアー代表 山口みどり * 企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』





マムは秋のイメージが強いのですが、トータルで1500坪もあるビニールハウスで、年間を通じて栽培されています。1つのハウスで、およそ5品種のマムたちが育っています。ハウスの温度は18度~20度くらい。お天気の良い日中は外の空気を入れているそうです。マムは出荷し1度使った土壌は廃棄し、また土作りから始め新しい花を育ていくそうです。「種を蒔くのですか?」と、尋ねると...



富永さんが持っているのは「穂木」といもの。こちらをしっかりと肥やした土に挿して行くそうです。差し木のような感じですね。富永さんいわく、マム作りに一番大切なことは「土作り」。マムの根がしっかりと張り栄養分を吸い取るように、毎回毎回、砂状分析にかけて土の状態を管理しているそうです。



だからこんなに、イキイキとして葉まで美しいマムが育つのですね!なるほど。

出荷する際に花を切り取るのは、柄の長いカマを使うそうです。かがまないで作業ができるので、腰に負担がかからないとか。

ハウスの中のマムたち



ストレーザ



シュードルチェ



パルティカピンク



レットロ

【福岡の花を知る】

* 花コラム記事・いけばな作品：オフィス メントアー代表 山口みどり * 企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月~2018年9月まで掲載』



マライヤグリーン

「マムがバラやトルコキキョウのように、花束やフラワーアレンジメントなどで気軽に使ってもらいたい」と、富永さん。ヨーロッパでは、お祝いや、誕生日のプレゼントなどで大変喜ばれ、とても良いイメージのお花です。色、花のデザインも様々で、日花の日持ちも良く価格もお手頃です。次はマムの飾り方をお伝えします。

マムの飾り方



水に浸かる部分の葉はすべてキレイに取り除きます。小さな葉もね!花はとても持ちが良いのですが、葉はしょんぼりしやすいので、気になるところは取っておく方が良いでしょう。花の長さですが、花ハサミではなくて、手で折ることが出来る方は試してみてください。裂けた茎はより水を吸い上げます。

壁掛けタイプの花器に小さくアレンジ



松との相性はバッチリですね。壁掛けタイプのアレンジは場所を選びません。私は廊下に飾っています。

【福岡の花を知る】

* 花コラム記事・いけばな作品：オフィス メントアー代表 山口みどり * 企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017 年 10 月～2018 年 9 月まで掲載』

マムのリース



リース作りのコツは、花色のバランスと大きさを考えて挿して行くこと。花の形もデザインを考えて挿してくださいね。私は上にくる部分には蓋を挿し、下になるほど大きなマムをいれています。簡単にできるので、お子さんと楽しみながら作れますね。

※リース用の吸水スポンジを使いました。茎が柔らかく挿しにくいときは、スポンジに串などで穴を開けると茎が入りやすくなります。

グリーンのマム「レトロ」を使ったアレンジ



花びらがとても華やかなので、お花の顔をいかしています。黄色と赤の実、センリョウです!小枝は庭のアベリアを入れてみました。フラワーベースは渋めのブロンズ&ゴールドを選びました。より花が際立って見えます。

木のBOX型のフラワーベースでマムをアレンジ



お子さんのお部屋にいかがでしょうか? お勉強で疲れたり、お友達と喧嘩しちゃって元気がなかったり。そんな時、まあいい形のマムは気持ちを穏やかにし、黄色やオレンジ色は元気を与えてくれます。ペーパーピックをあしらってみました。このアレンジのポイントは、きっちりと作りこまないでください。自然な感じが、肩に力が入らなく、見ていて楽しいな!と私は思います。緑の葉は、ポトスやユーカリ、ハーブ系の草物を入れています。(※この作品を作っているときに来客があり、「この花は何ですか?」と、聞かれ「マム、菊の種類ですよ」と、伝えると驚いていました。こんなにカワイイ花があるのですね!と)お花はいろんなシーンであなたのココロに語りかけてくれます。元気をもらったり、笑顔になったり...。一輪の花からもコミュニケーションがうまれます。気になったお花があれば、ぜひ手に取ってみてください!今年もお花とともに楽しい時間をお過ごしください。